

## ニュースリリース



アイコク アルファ 株式会社

**SANKO MFG**

2021年2月24日

アイコクアルファ株式会社  
株式会社三光製作所

### ロールス・ロイス向け次世代ジェットエンジン部品を国内初受注 ～アフターコロナを見据えて製造開始～

航空宇宙関連部品製造のアイコクアルファ株式会社（本社：愛知県稲沢市祖父江町森上本郷十一 4-1 樋田克史社長 電話 0587-97-1111）と株式会社三光製作所（本社：愛知県あま市七宝町安松三丁目 9 番地 奥村清志社長 電話 052-442-0569）は、英ロールス・ロイス社より次世代ジェットエンジン用の試作回転体部品を国内メーカーとして初受注し、製造を開始しました。このエンジンは、2020 年代末までの実用化を目指し、ロールスロイスが現在開発中の「UltraFan®(ウルトラファン)」という軽量・低燃費・高出力の次世代航空機用ジェットエンジンです。

今回両社が受注したのはファンから取り入れた空気を圧縮する中圧コンプレッサ部品の「ブリスク (BLISK)」（ローターディスクとブレードを一体加工したもの）と呼ばれる精密機械加工製品です。

両社は、三菱重工業株式会社 名古屋誘導推進システム製作所が主催する MASTT (Meiyu Aerospace Support Technology Team) のメンバーとして 2007 年 9 月にロールス・ロイス社を初訪問したことを期に、同社に対して、永年の航空宇宙部品加工で培った経験を用いて、精密な製品サンプルを製作し、これを何度も同社に持ち込んで技術力を継続的にアピールしてきました。その結果、実証エンジンプログラム用ブリスク（2 段目・4 段目）を日本企業として初めて直接受注することに成功、2020 年 10 月 19 日には “First Cut 記念キックオフ” を行い、本プロジェクトが本格的にスタートしました。

三光製作所は、精密 NC 旋盤加工のスペシャリストとして前加工を担当します。素材となる直径 1.3m にも及ぶチタン合金の鍛造材を最適な形状に削り出すためには、『ひずみ』を考慮した加工が必要で、高度な技術力が求められます。

アイコクアルファは、5 軸加工のスペシャリストとして旋盤加工後の翼面とディスクの一体削り出し加工を担当します。非常に滑らかな翼面に加工するためには「同時 5 軸マシニングセンタ」という特殊な工作機械を高度に制御する技術が必要とされますが、のみならず工法・プログラミング・特殊専用工具の自社製作・非破壊検査の資格取得など、各方面の技術を結集し、生産技術開発を進めました。また新技術として、翼面を仕上げる磨き加工は従来は人による手作業等で行っていましたが、今回の受注にあたって特殊な「ロボット磨き機」を国内初導入し、フィンランドから技術者を招聘して、技術を積み上げてきました。

コロナ後の航空需要の回復を見据え、まずは 2021 年 3 月の初品納入に向けて製造を進め、その後、地上試験機および飛行試験機の全 5 セットを、2023 年まで納入します。

